

悲願のレギュラー

主務 深見 優太 (4回生 兵庫県 私立育英高等学校出身)



「関西個人に選ばれたときの気持ちを教えてください」

私は立命館大学体育会剣道部に入学してから公式戦には一回生の時の関西新人大会にしか出たことがありませんでした。その大会は準優勝だったので私は結局一度も試合をすることなく補欠のまま終わりました。それ以降、試合がある度に選考会のメンバーには選ばれるものの、いつもあと一歩の所で負けて選手になれずにいました。何度か挫折そうになった時もあり剣道が全く面白くなかった時期があり、とても苦しかったです。しかし、同期の大石が自分達の回生を代表して戦ってる姿や、昨年の全日本大会で、堀場や植木が活躍している姿を見て自分もあのコートにたつて活躍したいという気持ちが強くなり、絶対に選手になりたいという気持ちでした。そんな中、4回生となり初めはBチームでしたが関西個人の選考会に選ばれ、チャンスはここしかない！という強い想いで望みました。そして、その想いが実って4回生にして初めて公式戦に出られることになりました。その時の気持ちは、本当に泣きそうなくらい嬉しかったです。今まで、努力を続けてよかったと思えました。しかし、同時に伝統ある立命館大学体育会剣道部の代表になったという強い責任感が湧いてきました。関西個人に出るだけでは意味がなく、最低でもその先にある全日本大会に出場しなければならぬというプレッシャーと戦う日々が続きました。

「全日出場を決めた時の気持ちを教えてください」

全日本出場を決めた時の気持ちは、嬉しいという気持ちよりホッとした気持ちの方が強かったです。その後に段々と実感が湧いてきて少し泣きそうになりました。(笑)

「関西個人の反省を聞かせてください」

関西個人の反省としては全日本出場を決めて気を緩めてしまったことです。田中監督からも前日に「優勝を目標に戦え」という指示を受け、そのつもりでいたのですが、私自身個人では初の全日本大会出場ということで舞い上がってしまい、集中力が欠けてしまいました。負けた相手とは実力には差はなかつたかというところと私の方が押していた試合だったので一瞬の緩みを突かれました。関西個人の反省はその気持ちの甘さだと思っています。その甘さをなくすためにも日々の稽古からもっと集中して取り組まなければならぬと思いました。

「西日本大会、全日本大会への抱負を聞かせてください」

迫る西日本では必ず優勝したいと思っています！去年、一昨年と鹿屋体育大学に負けているので今年はその気持ちをぶつけていきたいです！剣道で大切なのは気持ちの強さです。いくら強くても気持ちが弱ければ絶対に勝てません。私は実力がそこまである方ではないのでその気持ちの強さで勝負していきたいと思っています！何より、今年の立命館は強いと感じています。頼りになる後輩や、経験豊富な4回生がチーム一丸となれば絶対に良い結果が出てくると信じています。また、どのポジションで出るかは分かりませんが出場機会を与えられたなら絶対に勝ち、チームの為に全力を尽くしていきます！そして、必ず優勝します！全日本大会では、おそらく一回戦から強い相手との試合になるので臆することなく自分の力を出し切って勝負していきたいと思っています！もちろん目標は優勝ですが、上ばかりを見るのではなく一戦一戦全力で戦い、一つでも上のステージへ登っていききたいです。その為には今からしっかりとした準備をしなければなりません。毎日の稽古はもちろん、筋力、体力トレーニングも行なっていきます。立命館大学体育会剣道部の代表だという責任感をしっかりと持って望みたいと考えています！